

|           |                     |                   |
|-----------|---------------------|-------------------|
| 一級小型船舶操縦士 | S50年7月1日～50年12月31日  | S60年4月1日～61年3月31日 |
| 三級小型船舶操縦士 | S51年1月1日～52年3月31日   | S61年4月1日～62年3月31日 |
|           | S52年4月1日～58年4月29日   | S62年4月1日～63年3月31日 |
| 四級小型船舶操縦士 | S49年5月26日～50年12月31日 | S63年4月1日～64年3月31日 |
|           | S51年1月1日～51年9月30日   | S64年4月1日～65年3月31日 |
|           | S51年10月1日～52年9月30日  | S65年4月1日～66年3月31日 |
|           | S52年10月1日～55年3月31日  | S66年4月1日～67年3月31日 |
|           | S55年4月1日～58年4月29日   | S67年4月1日～68年3月31日 |

引き換えは免許の取得年月日でなく 交付年月日ですので注意して下さい

第五回

〃一一九番へ御連絡く

の妊婦検診(父島)

七日(水)午後一時から

療所産婦人科医師 瀬尾が来島されます。

◆濱江丸ものがたり (2)

「満洲は日本の生命線である」といふ当時のスローガンの示す通り、戦争の進行に伴うにつれて物資の流通が増大した日滿航路で、浜江丸は就航以来、当初の目的をはたしてきまされた。昭和十六年十二月八日、真珠湾奇襲に始まる太平洋戦争がはじまり、昭和十八年に入ると、浜江丸は陸軍から御用船として徴用(A船)され、主として南方方面において軍需輸送に使用される事になり、昭和十九年六月十二日、軍需輸送のため日本からサイパン島へ向けて船団航行中、サイパン島北方百三十海里の海上で米軍第五十八機動部隊の飛行機群にとらえられ、機動部隊の飛行機群に銃撃を受けました。敬しい爆撃・銃撃を受け、浜江丸と福荷丸を残して、船団十数隻は沈没してしまつたので、浜江丸も船尾部に爆弾が命中して操舵機が破損し、かつ居住区上で段から火災が発生したため、航行不能となり、この間、船長以下六十名中、八名の尊い戦死者と六名の負傷者を出しています。しかし、幸いにも沈没だけは免れ、約一週間の漂流後、機関長以下機関部員の努力によつて機関や操舵機の応急修理が完了し、何とか航行できる状態にまで復旧しました。

「米軍機動部隊はサイパン島を攻略中であり危険である」との状況判断により、硫黄島、母島と避航を続けました。七月末頃、父島近海において再び米軍第五十八機動部隊の雷撃機による攻撃を受けて、教発の魚雷が命中し、船は漂流の後、現在位置に座礁しました。錨を入れて船首を固定し、乗組員は陸上へ待避し、後日他の船便で内地へ向いました。この間(七月

184 1983. 12. 1

昭和58年12月1日(木) 小笠原村

七日)、サイパン島は米軍第五十八機動部隊を主力とする米軍の攻撃により、遂に玉砕しました。昭和十九年の小笠原近海は、決して安全な海とは言えなかつたようです。小笠原から内地への組織的な疎開船の第一便は、同年七月一日の朝、二見港を出港して、いまだに続いた疎開船も無事内地に着いたと聞いておりますが、よく何事もなく疎開が完了したものだと思えます。

米軍施政権下においては、浜江丸は格好のピクニックの目的地となりました。カヌーで渡つては、子供達は魚釣りを楽しみ、大人は機関のボイラーに使用されていた銅板等を回収しました。静かな境浦の水面に影を落としたり、夕空をバックに黒々と浮ぶシルエット。浜江丸を見て受けるイメージは、各人各様異なることでしょう。戦場であつた私達の村を、そして二度と繰り返してはならない戦争の悲惨さを後世に伝えるためにも、少しでも長い間、浜江丸が姿を保つていてくれることを願わずにはいられません。

※教育委員会からの

私たちが村には、残念ながら一むかし、昔……で始まるいわゆる昔話が伝わっておりません。また新しく小笠原に移り住まれた方も多く、昔のくらしなどを知る人も少なくなり、それらはだんだん忘れられつつあります。

しかし、私たちの村は、捕鯨が契機となつた欧米系人による最初の定住、八丈島民をはじめとする日本人による開拓、農作物・サンゴ等で信じられない位の景気にわかきかえつた時代、戦場化、強制疎開、米軍統治、返還、復興と旧島民の帰島と、わずか百五十余年で激勳の歴史を背負

つてい... 生活... 人は何... どう自... きたの... 教育... ではない... して... しており... 当時の... であり... 聞けば... もし... は五十... は良い... もの... の生活... てい... 役場... 会事務... けて下... だけ... やま... よろし...

◆本  
一母...  
十二...  
ミニ...  
類は...  
鑑、名...  
民話...  
〇〇...  
どがあ...  
せひ御...  
は...  
十二...  
じま丸...